

「いわて震災津波アーカイブ～希望～」を活用した授業 学習指導案

場 所 陸前高田市立高田第一中学校
 コンピュータ室
 学 級 高田第一中学校 3 学年 3 クラス
 指導者 森本 晋也 (岩手大学)
 紀室 佳子 (高田第一中学校)
 佐々木広一 (高田第一中学校)
 吉田亜矢子 (高田第一中学校)
 千葉 幹子 (高田第一中学校)

1 目標

- (1) 東日本大震災津波に関する資料保存についての意義や、「いわて震災津波アーカイブ～希望～」(以下、「アーカイブ」)の活用方法を理解することができる。
- (2) アーカイブを活用して、東日本大震災津波後の中学生の思いや、その後の生き方に関わる資料を読み、自己の生き方を考えることができる。

2 学習内容

- ・ アーカイブの意義と活用方法について学ぶこと
- ・ 震災津波後の中学生の思いやその後の生き方から自己の生き方を考えること

3 展開案

段階	学習内容・学習活動	指導上の留意点
導入 [5分]	<p>○これまで復興教育・防災教育「つなぐプロジェクト」の学習や進路学習、キャリア教育で学習してきたことを振り返る。[紀室]</p> <p>○上記の振り返りを踏まえながら、本日の学習課題を把握する。[紀室]</p>	<p>・これまでの復興教育・防災教育や進路学習、キャリア教育と本時のアーカイブの活用した授業を関連づける。</p> <p>※心のケアに関わって、事前に配慮が必要な生徒がいるかどうかの確認を行う。配慮が必要な生徒がいる場合には、予め学習内容を伝え、該当生徒及び保護者と学習への参加について相談する。</p>
展開(1) [20分]	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>「アーカイブ～希望～」を使って、震災後の中学生の思いやその後の生き方を調べ、これからの自分たちに生かそう。</p> </div> <p>○アーカイブが作成された目的について理解する。[森本]</p>	<p>・アーカイブが作成された目的と、収録されている資料を簡潔に</p>

	<p>○アーカイブのピックアップコンテンツ「【児童・生徒用】震災津波から学ぼう」を閲覧し、コンテンツの内容について知る。[森本]</p> <p>○アーカイブの「テーマから探す」の「結いの力」の「避難」のコンテンツを閲覧しながら、アーカイブの操作方法について知る。また、このコンテンツに収録されている新聞資料「被災地の子 奮闘」を読んで、気付いたことや分かったことをワークシートに記入する。[森本]</p>	<p>説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーカイブに収録された 20 万点の資料から必要な情報を収集できる技能を身に付けるためには、段階的に学習していく必要がある。本時では、ピックアップコンテンツ「【児童・生徒用】震災津波から学ぼう」に収録されている資料を活用して必要な情報の収集の仕方を学習させる。 ・指導者が生徒に閲覧するコンテンツを指示しながら、アーカイブの活用方法を学習させる。その際、平成 30 年 11 月に学校で行われる総合防災訓練に関する新聞資料を紹介する。 <p>※本時では、「テーマから探す」のコンテンツを中心に閲覧し、「詳細検索」については触れない。</p>
展開(2) [20分]	○アーカイブに収録されている中学生の書いた「私の主張」(田老第一中学校の山本拓実さん)と、6年後のインタビューの資料を読んで、気づいたこと、考えたことをワークシートに記入する。[森本、担任]	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの進路学習やキャリア教育と関連させながら、自己の生き方について考えさせる。 ・気づいたこと、考えたことをペアで交流させる。
まとめ [5分]	<p>○本時の学習を振り返り、感想等をワークシートに記入する。[担任]</p> <p>○アーカイブを活用して学習した感想を発表する。[担任]</p>	

4 評価の観点及び方法

- (1) アーカイブの意義と活用方法を理解することができた。(観察・ワークシート)
- (2) アーカイブに収録されている資料から、自分の将来の生き方について考えることができた。(観察・ワークシート・感想発表)